



「続 若き研究者の皆さんへ —青葉の杜からのメッセージ—」

花輪公雄 著

東北大学出版会, 2016年12月

105頁, 900円 (本体価格)

ISBN 978-4-86163-275-4

本書は、表題からもわかる通り、2015年11月に刊行された前著「若き研究者の皆さんへ—青葉の杜からのメッセージ—」の続編である。そこで、本稿では前著も併せて紹介させていただくことにする。

著者は、現在、東北大学で教育・学生交流・教育国際交流の担当理事を務められているが、2012年4月まで18年間にわたり、同大学理学部地球物理学教室の海洋物理学講座で教授を務められた。2008-2010年度には同大学大学院理学研究科長、2011-2012年には日本海洋学会会長も務められている海洋物理学界の重鎮である。

前著の「はじめに」には、本書が刊行された経緯が説明してある。要点をまとめると、上記海洋物理学講座の前任の初代教授であった鳥羽良明先生は、年度初めの研究室や海洋物理グループの顔合わせ会のときに、毎回テーマを決めて講話をされていた。著者が1994年に2代目の教授に就任したとき、「研究室の学生に何らかのメッセージを伝えたいという思いで」同じことを続けようと考えた。ただ、その場で話すだけではもったいないので、800字程度の文章にまとめて配布することにした。後にこれらが何十編か貯まったところで、「若き研究者の皆さんへ」と題して研究室のウェブサイトに掲載した。さらに、2002年からは毎月、ウェブサイトにもこのようなエッセイを掲載することにした、ということである。エッセイは理事就任前の2012年3月まで書き続けられ、184編に及んだ。前著には2006年3月までの91編が、本書には93編が収められている。

1編800字程度といえども、多くの人の目に触れる文章を毎月書き残すことは評者のように才能の無い者にはなかなか大変のように思われる。それを苦にしない著者の執筆活動の源泉は、長年培ってきた研究・教育の経験と豊富な読書に基づく深い教養にある。著者は数多い出張での移動の際には、論文の執筆はもちろん、教科書や論文を読むことも、予定されている講演の準備も一切せず、もっぱら本を読むことに時間を費やすという。実際、「言葉を大切に」の編では、廣田

勇先生の著書「気象のことば 科学のこころ」が取りあげられている。また、「収入の一〜二割は本代に使わなくっちゃ」の編では上記ウェブサイトのエッセイを見られた廣田先生からの「最近の学生は本を読まなくなると聞いています。ぜひ、本を読むことを勧めてください」というメールの文章も引用されている。

著者は、研究室メンバーとの昼食やお茶の時間、先生方や諸先輩・仲間の人たちとの「ナイトセッション」、会議での発言などを通じた人々との交流や意思疎通を大切にしていたという。本書はそんな著者が豊かな経験と教養に基づいて若い研究者に送る貴重なメッセージである。184編のエッセイは、これまで著者が蓄えてきた様々な考え方の引き出しを提示してくれている。これらの引き出しのどこに共感して影響を受けるかは、各人の多様な個性に応じて異なるであろう。しかし、若い研究者が迷ったり、悩んだり、あるいはさらなる一步をどう踏み出すかを考えたりしているときに、これらの引き出しのいくつかはその考えをまとめる上での後押しをしてくれるであろう。

著者と同年代の評者も、研究者を志した時から様々なことに悩み、また、教員になってからは学生さんにこんなことを学んでもらったら、研究者として一層ステップアップしてもらえたら、と思ったりしてきたので、著者と共通する想いも少なくなかった。すべての編を紹介することはできないので、参考までに、評者が共感を持ったり、面白く読ませていただいた編の表題を列挙しておくことにする。

「急がばまわれ」、「表現するということ」、「まずは『my ocean』、自分の海を」、「自分を正しく評価すること」、「ハンドルの遊び」、「自分のカラーを作ること」、「自分で書く推薦文」、「それも『一局』ですね」、「『デイサイエンス』と『ナイトサイエンス』」、「アマらしい問題設定を」、「論理的であれ」、「前を見て胸をはりましょう」、「雑誌が届いたら」、「即応するには日頃の準備を」、「三手の読み」(以上、前著)、「研究室における多様性の確保」、「これはという1枚の図を」、「口頭発表の勧め」、「いつかは決断」、「もっと理論を」、「ときには粘ることも」、「値段は張っても」、「産みの苦しみを味わって」、「石垣を作るさまざまな石」、「回り道の効用」。若い研究者の皆さんだけでなく、彼らにアドバイスをする立場の教員や研究者の方も、きっと本書の中に共感したり、何かの時にヒントになる引き出しをいくつも見つけることができるであろう。

(東京大学大気海洋研究所 新野 宏)